

令和2年3月24日

## 離任者からのメッセージ

広島大学附属東雲中学校

限られた時間とさまざまな制約の中で、離任される先生方からメッセージをいただきました。先生方は、本当は生徒の皆さんの前で直接お話ししたかったはずですし、皆さんも精一杯の感謝の気持ちを込めて、先生方を送り出したかったことだろうと思います。このような形になるのは残念ではありますが、離任される先生方のこれからの活躍をお祈りしたいと思います。

### 【国語科 浜岡 恵子】

生徒・卒業生の皆さんお元気ですか。この度定年を迎え、一応退任の運びとなりました。東雲中学校での16年間は、私にとって困難なチャレンジの連続でしたが、その都度、生徒・保護者・先生方に助けていただき今日を迎えることができました。本当にありがとうございました。臨時休校から早3週間。今まで当たり前であったこと・・・学校で勉強すること、友達とおしゃべりすること、自由に出かけること・・・の大切さを痛感しています。世界の状況を見ると決して楽観はできませんが、それでも人間一人ひとりの知恵を集めて、困難な状況も乗り越えられると信じています。また、近くお会いできる日を楽しみにしています。

### 【国語科 水田 遼介】

石原千秋という文学研究者が「この世の物語は“主人公が～する物語”か“主人公が～になる物語”のいずれかで表される」ということを言っています。「桃太郎が幸せに暮らす物語」「『僕』が『そんなやつ』になる物語」といった具合です。

あなたの人生も、あなた自身を主人公とする〈物語〉です。さて、どんなことを「する」物語なのでしょう。どんなものに「なる」物語なのでしょう。作者もあなた自身。たとえベストセラーにならなくとも、あなたと、あなたに寄り添ってくれる〈読者〉にとって、かけがえのない物語になるといいですね。

一人の熱烈な読者として、皆さんが紡ぐ物語の「中学編」を読み切れないことだけが、私の心残りです。きっといつかまたどこかで読ませて下さいね。

### 【数学科 青谷 章弘】

東雲中学校は、生徒とスタッフをあわせて300名弱の小さい学校であり、誰もが互いの顔を知っていて安心できる雰囲気の魅力です。たとえ小さくとも、学校が運営されるためには役割を担う人物が一定数必要であり、結果として、毎年多くの生徒がリーダーを経験し成長していく様を見てきました。そして、それは教員にとっても同様でした。東雲に来て、少しは自分から動くことができるようになったと思います。ありがとうございました。

**【技術科 堤 健人】**

1-2の皆さん、素敵なサプライズをありがとう！

しかし、名前を書き忘れたキミとキミ(\*∇\*)σ=σ 魂とガッツが伝わらないので次からは気をつけよう。

また、私の人生で最高の7年間を一緒に過ごしてくれた東雲に関わる全ての人に、心から感謝を申し上げます。いつか再会できることを楽しみにしています。

**【英語科 和田本真夕】**

みなさん、一年間という短い期間でしたが、ありがとうございました。

みなさんの明るい笑顔と何事にも一生懸命がんばる姿を近くで見ることができて本当に嬉しかったです。楽しい時間を共に過ごすことができ、たくさんパワーをもらいました。これからもそんな素敵なみなさんの活躍を期待しています。また会う日までお元気で。

**【特別支援教育 野口 慶子】**

私はこの度、廿日市特別支援学校に異動となりました。東雲中学校で過ごした4年間は、生徒たちの日々の授業や交流、挑戦や挫折、迷いや揺らぎを乗り越えていく姿から多くのことを学び、毎日が濃く充実していました。1年3組のみなさん、3月は休校になってしまったけれど1年間をやりきりました。2年生になったら先輩を助け、新1年生を「そっと見守る」サポートをお願いしますね。みんなで力を合わせたら大丈夫です。応援しています。最後になりましたが、担任、委員会、自転車、バスケットボール部の活動において保護者の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

**【養護教諭 伊藤 友美子】**

6年間過ごした東雲中学校を去ることになり、寂しい気持ちでいっぱいです。

私は「養護教諭」という自分の仕事が好きです。東雲中学校を去る今でもこの気持ちが変わらないのは、みなさんとの出会いが、一緒に過ごした日々が私にとって素敵なものだったからだと思います。たくさんの元気や優しさをありがとう。

これからも健康に気をつけて、自分らしさを大切にしてください。相棒（金魚&ドジョウ）とともに、みなさんのことを応援しています。

**【社会科 小栗 優貴】**

優しさだけじゃ生きられない  
別れを選んだ人もいる  
再び僕らは出会うだろう  
この長い旅路のどこかで  
—Tomorrow never knows—

Mr. Children の歌詞です。

明日を自分で描いて行ってください。

私も明日を描いていきます。

どこかで明日と明日が重なることを願っています。

**【理科 上田 航洋】**

理科の講師としてお世話になりました上田航洋です。

この1年間は、新しい環境への不安もありながらのスタートでしたが、皆さんが温かく迎えてくれたおかげで、楽しく授業をすることができました。授業やテストが難しいという声もたくさん聞こえていましたが、日を追うごとに色々な場面で皆さんの成長を感じることができて嬉しかったのを覚えています。

春から始まるみなさんの新しい成長を願っています。体調に気を付けて頑張ってください。

**【保健体育科 白石 愛】**

この1年間、生徒の皆さんには、たくさんの元気と勇気をもらいました。苦手なこと・難しいことも、あきらめず、一生懸命取り組む姿がとても印象に残っています。いつか、さらに成長した皆さんとお会いできることを楽しみにしています。保護者の皆さま、先生方には、さまざまな場面でご支援をいただきました。この場をお借りしまして、関わってくださった全ての皆さまに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

**【家庭科 小田 真実】**

11月からこの学校で先生を始めてあっという間に年度末になりました。

明るく楽しそうに授業を受ける姿もあり、分からなければ直ぐに聞く姿もあり、みんなの第一印象は素直だなと思いました。自分の考えに正直であるから素直になれるのだと思います。今後も自分の考えをしっかりと表現できるように素直でいてください。

これからも皆さんの成長と活躍を祈っています。短い間でしたがお世話になりました。